

しょうひせいかつ かつどうほうこく こども消費生活サポーター活動報告

せいさんしゃほうもん 第2回生産者訪問

2023.11.11(土) ヤギーズ カンパニー

12 つくる責任
つかう責任



こくさいもくひょう
国際目標SDGs

12
6Rを推進し、
廃棄物を
削減する

ふじえだほん
藤枝版ローカルSDGs

『こども消費生活サポーターは、
「つくり手」(生産者)と「つかい手」(消費者)をつなぎます』

11月11日(土)に、ヤギーズカンパニー(潮663)代表の内藤久恵さんの牧場を訪問し、お話を伺いました。

牧場には現在、やぎ38頭と、ひつじが飼育されており、やぎ肉や、ミルクを生産・販売しています。また、やぎのミルクを使ったソフトクリームなどを隣接するカフェで提供しているほか、チーズ業者に提供して「やぎのチーズ」づくりも行っています。

良質なやぎを育てるため、エサの質にもこだわりを持ち、牧草を自ら育て、エサに酒粕などを混ぜて与えているといい、やぎも取り合って食べるほど気に入っているようでした。また、この酒粕は地元の酒蔵から「廃棄されるもの」として出たものを再利用しており、環境に配慮した行動につながっていることを学びました。

内藤さんは、命を頂いていることへの感謝を込め、やぎの一头一头に名前を付けています。今回の訪問の中で、サポーターは命をつなぐ大切さや、より良いものを消費者へ届けるための生産者の思いに触れることができました。

○サポーターが感じた「つくり手」(内藤さん)の思い

- ・やぎやひつじの事をもっと知ってもらいたい。
- ・みんなに美味しく食べてもらいたい。

○サポーターが「つくり手」に伝えたいこと

- ・やぎの事(特徴、体調)をいつも考えていてすごいと思った。
- ・やぎの食品を食べてみたい。食べて感想を伝えたい。



☆アクション宣言☆

～消費者としてのこれからの行動～

- ・お肉やソフトクリームを食べて感想を伝えていきたい。
- ・つくり手の人の苦勞がムダにならないよう残さず食べたい。
- ・つくり手の人ががんばって育てているから、残さないようにしたい。
- ・食べ物を大切に食べて、できるだけ残さない。
- ・みんなに食べ物の大切さを伝えたい。
- ・食になっている動物に感謝をこめていただきたい。

